

～ Serving the Community and Supporting the YMCA since 1976 ～

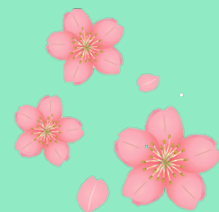


# 埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ：Make Earth Cleaner!

2026  
3月



## 2025-26 年度クラブテーマ「市民と繋がろう・市民に知らせよう」

先月 28 日に始まったイスラエル・アメリカのイラン攻撃は想定外の反撃にあって、戦闘は今も続いています。これで原油の供給が途絶えれば、世界はパニックになる。「油断！」という小説を思い出す。でも、私たちは毎日を真面目に生きて、スポーツニュースに喜怒します。さて今月のブリテンはるか大阪の泉北クラブの松野メンからエッセイをいただき、日本 YMCA 同盟に新総主事が就任した時の模様も報告します。



写真メモ[右上] 3月7日の関東東部の「集い」に上松・浅羽の2人が参加。日程が押し迫ってから決まったため、用事のある人が多数欠席。工夫すれば今後はもっと充実した集いになれる。[左上] 3月20日麴町の番長教会で、中道牧師の司式で日本YMCA同盟の田口総主事から太田総主事にバトンが渡された。詳しくは次ページ。[右2つ] 28日見沼の田畑周辺と用水路をNPO「水のフォーラム」の会員がゴミ拾い。W4Wに当クラブは浅羽が参加した。

### 今月の聖句

「望みを抱いて喜び、苦難に耐え、  
ひたすら祈りなさい。」

ローマ人への手紙 12 章 12 節

### 4月「レンゲ草」例会



日時：4月20日（月）10:00～12:00  
会場：市民活動サポートセンター（パルコ9階）  
卓話：「その子らしい輝きを応援したい」

大澤和子氏（元小学校教員・所沢ワイズ）

### 3月夜談会（方式変更）

日時：4月13日（月）1部：18時～19時（楽習会）  
会場：浦和パルコ9階（市民活動サポートセンター）  
2部：19時～20時 浦和東口「サイゼリア」  
\* 1部は原則会費なし。2部は各自の飲食分のみ。  
\* 和やかに見識を広げる さばけた市民の集い。  
\* 1部だけの参加もあり、です。

## ◆◆◆◆◆ イッセイズ ◆◆◆◆◆

### ◆ 「上松寛茂メンとのお付き合い」

松野五郎



50年前の大阪万博の頃「日本海時代の祭典」という会で上松寛茂さんと出会い、その後も何回かその会でお会いした。それがワイズの日本区が東西に分かれた頃、静岡県御殿場市のYMCA 東山荘で開催された日本YMCA 大会で偶然バツタリ氏と出会い、彼もワイズメンであることを初めて知った。それ以後東で会がある時は埼玉の彼の家に泊まり、西に会がある時は彼が拙宅に泊まるという関係が続いている。



バプテスト新森小路教会が1966年に地域の要請に答え「平和の子」保育園を創った。安保時代の余波を受け教会は無くなったが、保育園は今年で60年になる。一時保育や延長保育など時代の要望に応え、今は理事長を務める社会福祉法人しんもり福祉会として、休日保育、発達障碍児の療育施設や大阪市立両国保育所の委託運営を行ない、仕事と子育てという今日的課題に答えている。

上松氏から毎月送られてくるメディア日記は時事の裏側が良く分かるので、職員にも回覧している。大阪泉北クラブは東日本大震災の後、大船渡や陸前高田の地元の人達とも交流していて、今年の宮城県石巻市で開催される東日本区大会に参加した後、是非彼らを訪問したいと願っています。◆



\* 松野氏はワイズメンズクラブ西日本区の大阪泉北クラブの会員です。\* 上の写真は2024年8月にタイのチェンマイで開かれたワイズ国際大会で健康ゲームを楽しむ翁二人。下の写真は昨年8月熊本市でのアジア太平洋大会の時のもの。

### ◆ 「聖書に立ち、時代と向き合いなさい」

YMCA 同盟の総主事就退任式に出席して

浅羽俊一郎



3月20日春分の日、小雨降る中を私は四谷駅から麴町の日本基督教団番町教会へ向かった。私にとっては初めて列席する日本YMCA 同盟の田口努現総主事退任と太田直宏新総主事(現YMCA せとうち)の就任を祝う「就退任式」だ。全国から集まった会員が証人として立ち会い、祝う大切な儀式だと理解している。(以下「総主事」はGSと略記。)実は4年前の神崎前GSと田口現GSの就退任式はコロナ禍中でオンライン開催。それだけに今回臨場できた感動は格別だったし、各地のY会員と再会し、繋がりが広がっていることを実感出来たのも大きな収穫だった。

まず竹佐古真希氏のオルガン前奏は礼拝で聴くのは異なり迫力満点。司式の中道基夫神戸Y理事長はテモテへの手紙(II)を引用しつつ、この式の主旨はYMCA がどこへ向かうのかを問うものであり、時代状況が良くも悪くも、自問し続けねばならないと力説。臆病なテモテを励ましたパウロの言葉は今のYMCAにも響かねばならない。聖書に立って、時代に向き合いなさい、と。仕事に追われ疲弊し、相談し合う時間も少ない今の中堅・若手職員にこそ聞いてもらいたい説教だった。



田口GSはコロナ禍中でウクライナ避難民を受け入れ、企業との協働の道を拓いた。彼のご苦勞を心から労いたい。また太田GSには彼なりに力強いメッセージを発信してほしい。個人的にはワイズ同様各地の会員と同盟の連携を図ってほしい。

この会にはキリスト教界、民間団体、ワイズ役員のほか海外からはアジア太平洋Y同盟のナムGSと韓国Y同盟のキムGSが出席。埼玉Yからは太田聡GS、吉野メン、利根川メンと浅羽が出席した。

\* 写真は左から山本理事長、田口GS、太田GS、二人の後方にキム韓国同盟GS、右はナムAPAY同盟GS)

\* 以下は世界 YMCA 同盟の 2026 年 3 月 12 日付ホームページ掲載記事をグーグル翻訳し一部訂正したものです。

## 人道支援を開始：レバノン YMCA の取り組み

レバノン YMCA は、レバノンの危機に対する人道支援活動を主導しています。3 月 2 日に戦闘が始まって以来、(3 月 10 日現在) 400 人が死亡し、1100 人以上が負傷（うち 4 分の 1 は子供）しています。11 万 2000 人以上が避難を余儀なくされ、家族は車の中で寝泊まりし、学校は閉鎖され、病院は被害を受けています。



レバノン YMCA は、10 週間にわたる支援活動を 2 段階に分けて実施するために、20 万米ドルの資金調達を目指しています。第 1 段階（1～8 週、15 万米ドル）では緊急支援として、避難所にいる家族に対してマットレス、毛布、暖房用燃料の提供、食料と飲用水の提供、子どもへの衛生キット、おむつ、ミルクの提供、そして YMCA の協力のもとで進められる保健省の慢性疾患治療薬の配布プログラムを支援していきます。



第 2 段階のプログラム（8～12 週、5 万米ドル）は、最前線で働く人々や青少年支援グループへの心理的サポート、家族のレジリエンスを高めるためのトレーニングの提供、避難民の子どもたちのためのクリエイティブアート・プ

ログラム「希望を描く」の立ち上げに進みます。

1 ドルたりとも無駄にはできません。レバノン YMCA は、必要なシステムとインフラを備えており、支援を届けることができます。すべての受益者は登録され、追跡調査によってフォローアップされます。

行動を起こし、命を救うことができるのは今だけです。ご支援よろしくおねがいします。

\* 埼玉クラブが埼玉 YMCA にもっと親近感をもって支援できるように普段見られない活動のスナップを少し YMCA 職員が共有してくれています。

春の光が差し込む 3 月。チャイルドケアセンターこぐま（小規模保育室）では、2 歳児クラス 6 名がいよいよ卒室の時を迎えます。

今月は子どもたちの「リクエスト」を叶える特別な月。大好きな電車が間近に見える桃木窪公園へ出かけました。青空の下、走り抜ける電車の音を聞きながら食べたおやつは格別の味。遊具で遊びつつも、電車の姿に歓声を上げる子どもたちの笑顔溢れるひとときとなりました。



室内では、最後の製作「自分の顔」に取り組みました。保育者が手作りした大好きなキャラクターの衣装に、子どもたちが真剣な表情で自画像を描き入れます。力強くペンを握る成長した姿に、保育者は寂しさを覚えつつも、大きな喜びに包まれました。



小規模保育で育んだ家族のような絆が、これからの人生を支える「根っこ」になると信じています。新しい環境へ羽ばたく皆さんの幸せを願い、残りの日々を大切に過ごしていきたいです。

文責：太田 なぎさ（小規模保育室長）

\* 子供達の写真掲載は保護者の了解を得ています。

## 活動・会議メモ

### ◆ 3 月「夜談会」

9 日にサイゼリアで開催。今回の夜談会では、先月の本会で共感の声のあったように 2 時間の会食だけでなく、月によっては会を前後 2 部に分ける案

をもう少し煮詰めた。その結果、暫定的に次のようになつた。前半1時間は市民サポセン(パルコ9階)で出席者全員が何か共通のテーマについて話し合う。誰かが自由にテーマを選んで、10~15分担当者に発題してもらい、それについて語り合う。時間になったら中途でも、中締めにして、後半1時間はサイゼリアに移って会食する。前半だけで退出するのもよし。前半の準備が大変にならないように工夫するにもまずは試行することになった。

4月13日の夜談会は新方式をトライする。テーマは一応「AIの世界」ということにした。(浅羽 記)



出席：浅羽 M、干、長谷川、大輪、高岡、上松、浅羽

### ◆ 3月「つくしんぼ」例会

今月はクラブの運営など内輪のテーマについて話し合った。次期会長の衣笠メンがYMCA 東山荘で開催された次期会長・役員研修会を報告。新会員の入会に比べてクラブの解散やメンバーの退会が続く現状認識は共有された。

今後の活動についてはしばらくジェンダー学習を継続する方向に話が進んだ。

50周年については改めて10月30日(金)午後開催とし、記念例会の会場候補は久美愛教会を考える。また記念プログラムとして浅羽から以下の提案。今まで続けてきたジェンダー学習の途中成果として市民活動を実践している市民を対象に「市民活動とジェンダー(仮)」というシンポジウムを開催し、分野間の関係が希薄な団体がつながるきっかけを作る。会場はサポセンかウィズユー・埼玉を考えている。時期は11月の日曜日礼拝終了後の午後の時間帯を考える。非公式にいくつかNPOに当たりたい。今のところ異論なし。

4月例会は所沢クラブの大澤和子メンが卓話をすることになった。またこの例会は新会員の入会式をすることになったことを感謝して報告したい。



最後に、今例会は会長の不手際で水無瀬メンがズームで部分的にしか出席できず、申し訳ないことをしました。4月は頑張ります。(浅羽 記)

\* ゲスト：金子

\* メン：浅羽、上松、衣笠、高岡、伊藤、水無瀬(一部)



## 仲間からの便り



### ◆ 今月の俳句 堀和光二郎メン(俳号 愚道)

#### 旅に出るつもりでこもる老ひの春

旅に出たいのですが、お金がないので家にこもることになりました。

#### ずっと立つ春の芒のずっと立つ

ススキは冬の季語ですが、春にも倒れず立っていました。老体も何とか生きているものですね。

#### 春うららかラス鳴いてる日曜日

家にこもっていると曜日の感覚も怪しくなります。そんな日曜日にただカラスが鳴いていました。さあ今日は何をしましょうか? テレビもなるべく観ないようにしています。

| 統計          | 出席 | 会員 | ゲスト/ビジター |
|-------------|----|----|----------|
| 3月夜談会(3/09) | 7  | 3  | 4        |
| 3月例会(3/16)  | 7  | 6  | 1        |



### ワイズメンズクラブ 案内

ワイズメンズクラブ国際協会(Y's Men International)は青少年教育団体YMCAを支援する国際的奉仕クラブで、若者と地域への奉仕と、国内外の交流を大切にします。肩書き/性別/政治/宗教/年齢差を問わず皆対等です。奉仕活動に挑戦してみたい方に向いています。埼玉クラブは浦和区を拠点に活動しています。先ず月例会の雰囲気味わってください。年会費4万円ですが、ゲストでも一緒に活動できます。

\* 詳細は浅羽会長まで。(090-7426-5553)